

三田市議会議員（政党無所属）

なかたさとし

武庫小、狭間中、北摂三田高、兵庫県立（旧神戸商科）
大学卒、不動産会社勤務、三田市議会議員2期目

連絡先:nakasatosi19761103@yahoo.co.jp / 090-8796-9513

【田村市長の不信任決議案否決】

3月議会最終日、田村市長の不信任決議案が議員提案により提出されるも賛成10
反対12で否決。なかたは熟慮の末、不信任決議案に賛成を致しました。

【不信任決議案のポイント整理】

①**市長選挙において市民病院再編白紙撤回を公約に掲げるも、『自身が発した白
紙撤回の意味は辞書とは定義が違う。』との、とんでもない発言により公約を撤回。**

⇒見通しもアイデアも覚悟もなく不用意に再編計画白紙撤回公約を掲げ、市民の混
乱・分断と民主主義の破壊を招いた。（⇒市長の職責は非常に重い。そこに挑む
人が『知らなかった』では済まされない議題。選挙出馬に向けての知識、調査、
準備が著しく不足しており無責任との批判は避けられない。）

②**目玉公約である、こども医療費・給食費の無償化を新年度予算に盛り込まず。**

⇒インフレと財政状況を理由に挙げるが、インフレ傾向も、財政状況も市長選前か
ら充分に予測できたもの。『銀行出身で数字に強い。』をアピールしていたのでは！？
重大な公約違反も減給対応等、自身へのペナルティー一切無し。

③**予算審議や市民に向き合う姿勢への批判。**⇒予算審議において重要事業につい
ての発言殆ど無し。予算審議中に退席する等、取り組み姿勢を批判される場面も
あり非常に残念な印象。また、自身の選挙を支えた市民グループとの対話を断
絶したとして支援団から解職を請求される等、市民との対話姿勢も評価されず。
『市民本位』で対話と発信重視を掲げていたのではなかったのか！？

以下、令和6年度予算(主な新規・拡充事業)の概要

1. 子育て・教育～こどもの成長は社会を照らす光～

【教育】

□**休日地域クラブ活動推進事業**⇒過剰な学校現場負担軽減策
として国が方針を打ち出している部活動の地域移行。指導人材
確保や保護者負担のあり方、移動の問題等課題は山積していま
す。⇒部活動での経験は子供の成長にとって最も重要な要素の一
つと考えます。国・県にも関与を求め、地域への押し付けで終わ
らせずに、ステークホルダーと連携し、取り組みを進めなければなりません。

【**なかたの考え**】地域や民間との連携のあり様によっては、ボランティア部、
科学部、ダンス部、農業部、などこれまで学校教育では実現できなかったよ
うな新しい活動を生み出すチャンスにもなり得ると考えます。新たな挑戦と捉え
て部活の地域移行問題を注視して参ります。

□**不登校等対策事業**⇒不登校・別室登校の児童生徒への対応を充実させる
ことで、一人ひとりに応じたアプローチを行ない、社会的自立につなげます。

◆**こどものこころの支援員・サポーター配置強化と校内サポートルーム整備**
⇒クラスに入りづらい時に利用できる部屋を整備し、児童生徒のペースに合わ
せて支援員やサポーターが相談や学習支援を行ないます。

◆**あすなろ教室スクールソーシャルワーカー配置・スクールカウンセラー拡充**
⇒アウトリーチによる相談や支援の充実、関係機関との連携強化と保護者への
相談体制整備。

◆**あすなろ e-school**～メタバースを活用した新たな学び空間～
タブレット端末を活用し、メタバース空間（デジタルの仮想空間）や AI チャッ
トを介したコミュニケーションや学習を通じて、社会や人との関わりを持つきか
けとします。

【**なかたの考え**】⇒不登校の背景は個々により様々で一律の解決策はありません。
中には、家から外に出ることさえも困難な児童もいます。デジタル空間や
オンラインを介してなら、ヒトからの重圧が軽減され他者とのコミュニケーション
が可能となるケースがあり、他者とのコミュニケーションの第一歩目としては、
有用な手段だと考えます。（教室復帰事例も）⇒様々なデジタル技術の活用によ
り、限られた現場人材の不足部分を補完し、個別最適な（多様な個性や状
態、学習進度にあわせた）学習・生活指導を実現しなければなりません。

□**民間人材・施設を活用した小学校水泳授業実施拡大**

⇒民間指導員による水泳授業の実施を8校に拡大。⇒指導力
・安全管理の向上 × 教員の負担軽減 × プール維持管理コ
ストの低減と三方良しの取り組みです。これまで提案を続けて
きた成果です。（右上へ）



④**リーダーシップ・アイデア・ビジョン・覚悟**⇒ふるさと納税、公民連携、情報
発信に力を注ぐとするが（重要ポイントではある）、今のところ目を引く具体
案や成果見えず。また、任期内に子育て支援（無償化）予算達成するとい
うが予算審査の答弁では財源確保のための覚悟や具体策を示さず説得力に
欠けるとの指摘が。市民は市長選挙で『変化』を選択。⇒しかし、変化は市
長の強いリーダーシップによって起こります。ガバナンスが効かずチーム力が
発揮できていない現状を早期に打開しなければなりません。

【不信任反対の討論】

⇒市長に厳しい評価を示しつつも、市民病院再編など市内外に大きな影響が及
ぶ重要案件を抱える中で政治空白をつくるべきでないというもの。（神戸市との連
携関係については私も重要視しています。）

【市民の反応は】

⇒『選挙公約がほとんど守られないのならば何を信じて投票をすればよいのか？
選挙は無効だ！』との厳しい意見が多い中、『新しい市長を市民が選んだのだから
もう少し見守ってみては。』との寛容な声も聞かれます。今後市長は**重視する政
策に活路を見出すとともに、公約未達成についての市民に向けた説明を尽くし
信頼回復へ懸命の努力を重ねなければなりません**。政治的空白は三田市にとつ
ての損失。課題が山積する中、前向きで生産的な議論に切り替えるべく、私も
精進してまいります。引き続きみなさまのお声をお聞かせください。

【子育て】

□**病児・病後児保育直営実施**⇒働く保護者にとって切実な課題である、お
子さんの病児・病後児の保育。⇒就労や子育てのセーフティネットとして更なる
機能強化を求めてまいります。

□**産後母子への支援拡充**⇒産前産後にかかる検診・訪問・通所・宿泊ケア
を拡充し出産を支援します。

※利用日数 4日⇒7日に増加。

利用料 宿泊型5000円⇒3000円、通所型3時間コース2000円⇒1000円
通所型6時間コース3000円⇒2000円、訪問型2000円⇒1000円に減額。

□**放課後児童クラブ児童送迎バス事業**⇒定員超過により入所
できない児童を空きのある近隣児童クラブに送迎し待機児童
減少を図ります。⇒土曜日開所や、一部校区の待機児童の解
消へ向け、要望活動を継続して参ります。（民間事業者との連
携も視野に待機児童ゼロの実現を。）

□**こども家庭センター相談支援体制強化**⇒増加、多様化する子育て支援ニー
ズに対して伴走型の支援を拡充するため『子ども家庭センター』の相談支援
体制を強化します。

◆**家庭相談室拡充**⇒子ども家庭支援員を2名配置。

◆**親子関係形成支援事業**⇒ペアレントトレーニング⇒親の子どもへのかかわ
り方等の養育スキルを身に着け、子どもへの不適切な行動を改善し、健やか
な成長を促進する。心理教育的アプローチ。

2. 福祉・高齢者～誰一人、取り残されないまちを～

□**介護保険料見直し**⇒65歳以上の方の間での所得再配分機能を強化
し、低・中所得者の保険料上昇を抑制、制度の持続性を担保します。
また、基金を取り崩し、保険料基準額を引き下げ全体の負担を引き下
げます。

□介護人材育成支援事業

介護を支える介護人材不足が深刻な状況です。
⇒初任者研修・実務者研修受講費用や介護支援
専門員・主任介護支援専門員研修受講費の助成
を行ない、人材育成を図ります。

□**新モビリティ実証実験推進事業（外出支援）**⇒高齢化先進地フラワータ
ウンにおいて近距離移動に適した小型低速移動車を使い、お出かけが
困難な高齢者の外出支援への取り組み（実証実験）を行います。
正式事業化と他地域への展開を求めてまいります！（裏面へ続く）



(表面の続き)

□重度障害者外出支援事業

重度心身障害者の外出支援のためのタクシー料金助成制度について交付総額を増額し、サービスを拡充します。

□地域外出支援おでかけサポート事業

交通不便地において、地域住民が主体（ドライバー含む）となる新たな地域内交通の導入を支援します。⇒市が車両を地域に提供⇒地域主体で交通空白地有償運送事業を立ち上げ運営します。地域の担い手確保が重要な課題となります。

3. 環境政策～こどもたちに残したい未来を創る～



□街路樹適正化事業⇒大木化や密集している街路樹の適正な伐採・剪定を進め、魅力ある景観を守りながら街路樹を持続的に維持管理していきます。⇒根上がり、通学路視通確保、維持管理コスト課題解消へ。

□新ごみ処理施設整備事業⇒現在のごみ焼却施設の老朽化が極限状態にあり、都度改修が非効率になっています。⇒新施設は焼却エネルギーを有効利用できる性能を持つ環境配慮型高効率施設になる予定です。

□木の駅プロジェクト推進事業 ⇒里山整備等により発生する伐採木を薪やチップ等に加工し、販売する仕組みづくりを進め資源循環型社会につながる里山林管理を目指します。

□廃プラスチック類分別収集調査事業⇒プラスチックごみの分別収集ストックヤード・分別梱包施設整備、再商品化計画策定にかかる調査・分析を行ない、プラスチックの資源循環体制構築を進めます。

4. 産業・観光政策

～雇用と起業、観光を促進し活力ある地域経済を創る～

□高校生キャリアデザインアカデミー⇒将来のキャリア選択の一つとして広く起業への意識情勢を図るため、高校生向け起業家育成講座を開設します。



□チャレンジショップ応援事業⇒市内テナントで事業をスタートアップする起業家を家賃補助などで支援します。

□千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業⇒千丈寺湖周辺の自然豊かな美しいロケーションを活かし、民間事業者のノウハウを活用したアウトドア施設の誘致や体験型プログラム等を展開する事で周辺地域の活性化を図り三田のアウトドアの魅力を発信します。⇒アウトドア資源の活用戦略について一貫し要望し続けてきた成果だと考えます。

□大阪・関西万博交流推進事業⇒万博開催に合わせ兵庫県とも連携、三田の魅力発信や来訪者獲得の為にフィールドパビリオンの取組みを進めます。

5. 農業～食の安全保障を三田から立て直す～

農業分野には、担い手確保、生産性・収益性向上、食の安全保障担保、地域・国土・環境保全等、多くの課題と目的があり、多面的な視点からの対策を講じていかなければなりません。

□地域計画推進事業⇒次世代に農地を着実に引き継いでいくため、目指すべき将来の農地利用の姿を明確にする地域計画の策定に向けた取り組みを推進します。⇒大規模化・新規参入も想定し、地域ごとの農地利用情報・計画を整理⇒見える化することが重要です。

□農機具バンク制度⇒機械更新等に伴い不要となった農業機械を多様な担い手に譲渡する仕組みづくりを行い、就農開始時における負担の軽減を図ります。



◎令和6年度予算概要～市民サービスの充実と、持続的な財政の両立を～

【予算】一般会計予算は437.7億円 対前年度比2.8%増。(市民センター修繕費、幼稚園施設補修費、体育館管理運営費、新ごみ処理施設整備事業費などが主な増加要因) 特別会計(国民健康保険事業、農業共済事業、公営墓地整備事業、駐車場事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業)、企業会計(市民病院、上下水道事業)を併せた全体会計の予算規模は869.9億円 対前年度比1.4%増。

【基金・債務残高】基金の令和6年度末残高見込みは81.5億円 対前年度比15.9億円減 一般会計債務残高は令和6年度末見込みで319.3億円、特別・企業会計を含む全体の債務残高は420.2億円 対前年度比3.2億円増。

6. まちづくり～人口減少を食い止める！～

□さんだ移住・定住促進アクションプログラム関連事業

⇒さんだを『暮らしやすく住み続けられる魅力あるまち』として市内外に広く周知するとともに、若者の定住や移住を後押し、転出者減・転入者増を目指します。

◆オンライン移住体験ツアー◆移住支援金事業

◆住み替え支援事業◆空き家リフォーム補助事業

□結婚新生活支援事業⇒三田市内で新婚生活をスタートさせる新婚生活のスタートアップ費用を支援します。

□学生のまちづくり支援事業⇒地域での起業や活動をきっかけとして若者が、まちに関わり、愛着を持つことができる事業を一体的に実施し、定住促進・地域活力増進につなげます。

□ニュータウン再生事業⇒フラワータウンをオールドニュータウンの再生モデルとし、⇒公園・歩道などの公共スペースを弾力的に活用し官民一体でまちの活性化に取り組みます。成果を検証し、他のオールドニュータウンへの展開を求めてまいります。



7. 公共施設・インフラ整備

～計画性と持続性が市民生活の基盤を守る～

【市民病院】

□新統合病院整備関連事業⇒医師の確保や施設の老朽化の問題を解決する為、三田市民病院と済生会兵庫県病院を再編統合、新統合病院を整備し、三田・北神地域の急性期医療の核を創るとしています。⇒一定水準の救急体制と医療の質を担保する上で、大学病院等との連携による若手医師の確保は欠かせません。⇒若手医師が研修環境の整った大病院や先端技術を持つ病院を志向する傾向が強まる中、また、医師の働き方改革が進み、全国で医師の獲得競争が激化する中、統合を進め、400床以上の病院を創らなければ、医師不足のリスクは更に高まります。⇒しかし、まだまだ、市民の理解が十分に得られたとは言い難い状況。⇒当局には引き続き、**市民への丁寧な説明と対話**を求めて参ります。(2.25億円)

◆新統合病院基本計画策定事業

◆現三田市民病院跡地活用調査事業

◆新統合病院基本設計基礎調査事業など



【主な公共施設・インフラ整備】

□街区整備関連⇒三田駅前Cブロック地区推進事業(8.22億円)、相野駅北地区・広野地区まちづくり計画(867万円)

□学校、幼稚園改修工事業費(6.71億円)三田幼稚園大規模改修設計、三輪小学校大規模改修、三田小学校大規模改修、松ヶ丘小学校・ゆりのき台小学校照明器具改修、あかしあ台小学校・ゆりのき台中学校エレベーター設置工事設計ほか。

□総合文化センターPFI導入支援⇒(0.14億円)郷の音ホールの運営に民間の資金と経営ノウハウを取り入れる為にPFI手法を導入します。

□城山体育館・駒ヶ谷体育館大規模改修・空調設置 (7.09億円)

□市民センター大規模改修工事(10.34億円)⇒フラワータウン市民センター、高平ふるさと交流センター、さんだ市民センター、ウッディタウン市民センター。

□総合福祉保健センター屋根外壁改修設計(0.18億円)

□野外活動センターつどい橋拡幅工事(0.43億円)

□ごみ処理施設等修繕(1.82億円) ほか

